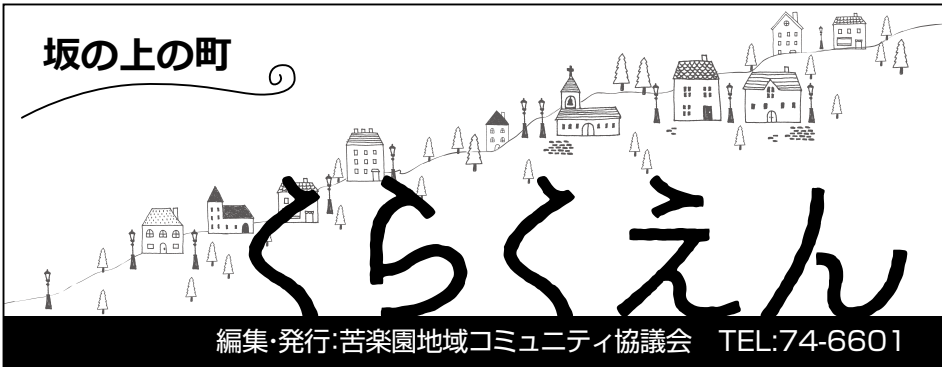




ヨシミワコ マシャードさん

1965 (昭和40)年 ブラジル生まれ
 ・**ブラジル時代** 旅をしながらミサンガを作っていた。
 ・**日本での職歴** 三菱エレベーター勤務
 ・**現在の活動** 土日は手作りの凧上げをしている。コロナ禍の時何もすることがなくなった時に、「ミサンガを作ろう!」と、思い立った。凧上げの時などに、子どもたちへミサンガを作ってプレゼントしている。



編集・発行・苦楽園地域コミュニティ協議会 TEL:74-6601

まちの宝人 — ワコさん

元気で、明るい社会になるため、ミサンガを巻きます。

昨年6月、越木岩会館で行われた越木岩センター準備推進委員会講座「みんなでミサンガをつくろう」。講師でブラジル出身のワコさんにインタビューしました。

講座は大盛況でしたね

1月に続き2回目の講座でしたが、たくさんの方の参加があり感謝しています。定員50人に対し、小学生以下の子どもたちを中心に、約70人の参加があったと聞いています。講座はどのように進行的のですか…

まずは順番に並んでもらい、吟味して2色の糸を選んでももらいます。選ぶ瞬間が一番楽しそうでしたね。

全員の準備が整ったらスタートです。親子で助け合ったり、近くの人同士で教え合ったりしてミサンガを編んでいき、最終仕上げは私が担当。

出来上がると1人1人とハイタッチ。個性豊かなミサンガの出来上がりです。

ミサンガとは…

ポルトガル語で「良い結末」という意味があり、ブラジル人は願い事をかなえるため、手首や足首に巻いています。

恋愛運を高めたい時は「利き手首」に、友情運を強くしたいときは「利き足首」に巻くといわれています。

いつブラジルから日本へ

30数年前、28歳の時でした。日本でお金をためて、ブラジルに帰って家を建てようと思



最終仕上げをするワコさん

っていました。しかし、結婚もして子どもも生まれたので、日本でもっと楽しんでいきたいと思っています。

ブラジルのミサンガはひも状ですが、私は編み目のミサンガを考え、ポトルフツカーやバンダナ、携帯のストラップのような物まで用途を広げました。そして土産として観光客に販売する仕事をしていました。

日本語は日本に来てから、独学で学びました。

いま一番の楽しみは…

もちろん、友人の奥さんから勧められて始めた講座もそうです。休みの日は大阪の淀川の河川敷でたこ揚げを楽しんでいます。

たこは自分で作ったオリジナルのブラジルたこです。日本のたこと違って、ドローンのように上下、左右にコントロールできます。またたこ揚げの場所である人と交流できるのも楽しいですね。知り合った子どもたちにはミサンガをプレゼントしています。

これからの目標は…

ミサンガの専門店を開き、日本中にもっとミサンガを広げたいと思っています。当たり前のことですが、基本的には元気で、楽しく過ごしていくことです。

ミサンガを通して、日本の生活を謳歌しているワコさん、これからも講座をよろしくお願ひします。



巻き方を教えるワコさん

大人気のキッズニア

苦楽園子ども会

まだまだ寒い2月11日、毎年恒例行事となっているキッズニア甲子園へ、会員48人と保護者ときょうだいを合わせて83人で行ってきました。集合時間は午前8時と普段より早めでしたが、子どもたちは楽しみで、入場が待ちきれない様子でした。

入場すると体験したい仕事を予約し、個々に体験が始まりました。

男の子たちにはすし屋が人気でした。季節によって作れるすしが違うようで、2月は節分にちなんで太巻きを作りました。たくさんの具材を詰め込み、極太の太巻きが完成。大きな口を開けて、口いっぱい



どの具材もおいしそう!

いに自分で作った太巻きを食べていました。絶品の太巻き



みんな真剣な顔で仕上げました

をあとという間に食べ、大満足の笑顔がすてきでした。

女の子たちにはチョココレート工房で体験するチョココレイトが人気でした。甘い香りに包まれながら好きな形やトッピングをして、オリジナルのチョココレートを完成させました。完成したチョココレートは家族とゆつくり堪能していました。

保護者と少し離れて体験することで、子どもたちは少し成長し、充実した1日となりました。



少し成長した顔で集合!

笑顔あふれる6年生を送る会

苦楽園小学校

「6年生を送る会」が、2月26日に苦楽園小学校で行われました。卒業を控えた6年生は、1年生から手作りのプレゼントを受け取り、首に輝くメダルをかけて温かい拍手の中を入場しました。会場は大きな拍手と笑顔に包まれ、和やかな雰囲気。



卒業おめでとうございます

続いて1〜5年生が心を込めた出し物を披露しました。元気いっぱい歌や息の合ったダンス、思いを込めた手話、笑いを誘うコントなど、感謝の気持ちがあふれる発表に、6年生も思わず笑顔に。6年生からも在校生にプレゼントと歌が送られ、会場は感動と温かさに包まれました。

みんなであれしいひな祭り会

夙川宝プリスクール

夙川宝プリスクールで3月3日にひな祭り会が行われました。

歌を歌って、おひなさまが7段飾りから抜け出して、冒険に行く話に、みんながドキドキワクワク。ひな祭り由来の食べ物の話、0〜5歳児まで組ごとに制作したおひなさまの作品を紹介。作り方や工夫したことを発表しました。

その次は鉄棒の練習の成果を披露。緊張してうまくできない友達には、温かい声援や手拍子で応援します。連続逆上がりや足抜き回りの大技には大きな拍手が送られて、子どもたちの優しい気持ちがあふれるひな祭り会でした。



世界に一つのおひなさま♪



鉄棒もかっこよくできました♪

耐寒ハイキング

ボーイスカウト西宮13団

澄みきった冬の2月15日、カブ隊(小3〜5年)の耐寒ハイクが実施されました。

鷲林寺→観音山→奥池→苦楽園尾根を通過して越木岩神社にあるスカウトハウスに戻る約11kmのコース。冷たい空気に包まれた朝でしたが、歩き始めるとすぐに体が温まり「暑い!」という声に次第に変わっていきました。

昼食後は少し疲れも見えましたが、歌を歌ったり、互いに声をかけ合い最後まで楽しく歩き切りました。

寒さに負けず歩いた1日。仲間と共に乗り切ったこの経験は、積み重なって次のチャレンジにつながります。みんな、よく頑張りました!



目的地奥池でパシャ!歩いたぞ!

まらかど探訪 — 池をめぐりて

恵ケ池 (めぐみがいけ)

苦楽園に点在した池のうち、最も大きかったのが恵ケ池です。面積1960坪(約6500㎡)。阪神甲子園球場のグラウンドの約半分の広さがありました。

コンクリートの壁で固めら

れる以前の恵ケ池は、自由に水際まで行くことができ、春には桜が池に映え、数年に1度水抜きをして大量のコイやフナを捕獲することもあったそうです。越木岩部落のかんがい用ため池として、六甲の山から流れる水をたたえていました。

恵ケ池という名前になったのは大正4(1915)年のこと。人々を大干ばつから救ったことから、東本願寺管長・大谷句佛上人によって命名されました。

「大旱の日の、この池なかりせば村人は枯れ行く苗を眺めて泣かん、されど事なき時、日夜朝暮にこの池の恵みを忘れでありや覚束なし。さ



右側の建物は「苦楽園市民館」

ても吾等は生死無常の世にありて、大悲の御手にすがりながら、懈怠に明け暮れて報恩の念を忘るる、浅間しくもあさまし、村人は唯池水と思うなよ。皆大君の御恵みなれば」と書かれた掛け軸が残っています(「苦楽園八十年の歩み」より抜粋)。

平成3(1991)年に、池の3分の2を埋め立て、現在の苦楽園市民館が建設されました。

市民館の横の駐車場には小さな七観音がまつられています。もともと、池の対岸には江戸時代に建立されたお地藏尊がありました。市民館の建て替え工事中に行方不明になったため、苦楽園自治会で新しくまつることになりました。

ガミヤ池 (宮ヶ谷池)

剣谷第六公園の南に小さく残っているのが「ガミヤ池」。正式名は「宮ヶ谷(ミヤガヤ)池」です。

かつては池の広さが公簿で3反(約900坪)ほどもあり、柏堂地区の人たちが堤防を造ってかんがい用のため池として利用していました。また、当時はキャンプ場としてもにぎわい、人々はボート遊びや魚釣りをして楽しんでいました。

昭和50(1975)年代以降は、周辺に宅地化の波が押し寄せ、農業用水の役割も減少し、昔ほどの緑も少なくなり、ひっそりと存在しています。



住宅街にひっそりと!

夫婦池 (めおといけ)

昔の人は縁結びや夫婦円満などを祈願しながら、地域にある「三つの夫婦」を巡って鷲林寺に参詣したといわれています。

その一つ目が「夫婦池」。西宮市水道局が管理する貯水池で、西宮協立リハビリテーション病院の南側にあり、大小二つに分かれています。水面には池の周りの木々が映り、昔の面影を残しています。

二つ目の夫婦は、県道82号大沢西宮線を分断するように鎮座する「夫婦岩」。三つ目が「夫婦橋」で、今は4本の親柱だけが残されています。



中央の建物は西宮協立リハビリテーション病院

時間/曜日	月	火	水	木	金	土
8:30	○	○	○	/	○	○
12:00						
15:45	○	○	○	/	○	/
19:00						

休診/木曜・土曜午後・日曜・祝祭日

(電話) 0798-72-4601(代)
https://www.sonodanaika.com

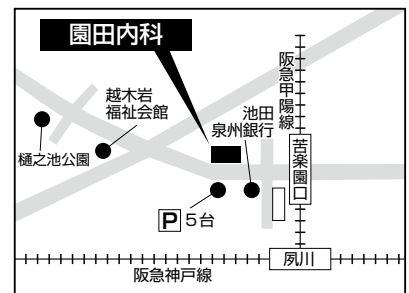
内科 胃腸科 循環器科



医療法人社団

園田内科

西宮市南越木岩町14-7
阪急苦楽園口駅 西側徒歩約3分





「ふるさと」

大宮 言葉



「苦楽園口駅」

阿部 杏奈



「思い出のケーキ屋さん」

河村 奏斗



「いつもの坂」

楠原 彰

苦楽園百景
苦楽園中学校



糸が絡まないように全集中!

個性あふれるミサンガが完成
苦楽園地区青少年愛護協議会
苦楽園地区青少年愛護協議会は、2月7日に工作教室を開催し、小学生28人が参加しました。今回は、寒い冬でも室内で楽しめる「ミサンガ作り」です。

ミサンガは、組み合わせる色や身に着ける場所によって意味合いが変わるアイテムです。初心者向けの方法と難易度の高い編み方の2種類を準備し、おのおのが自分のレベルに合わせて選びました。

初めのうちは「意味が分からない」「難しい!」という声が上がりましたが、慣れてくると真剣そのもの。集中して編む間、教室には静かな時間が流れました。完成したミサンガに、どんな願い事を掛けたでしょうか。

お気軽に 無料相談窓口にお電話下さい

内容証明

相続・遺言

国際結婚

各種許認可

契約書作成

アトラス行政書士法人

行政書士法人番号 第 2308101

〒662-0098

西宮市柏堂西町 14番25号

9:00~17:00 土日祝休み

無料相談窓口



0120-005-185



アトラス行政書士法人

atlas-gyousei.com